

日本森林学会・日本木材学会合同シンポジウム  
「森と木と環境 - 森をまもり、国産材を利用すること - 」

主 催：日本森林学会・日本木材学会シンポジウム実行委員会

日 時：2006年 4月 2日（日）13:30～17:00 入場無料

会 場：東京農業大学百周年記念講堂（世田谷キャンパス）

私たちの健康的な生活のためには、みどり豊かな国土とそこで培われる本物の資材と多様な文化によって造られてきました。それは健全な森林を造成し、保全し、利用することであるとともに、そこから生産される健全な木材を優先して使うことが重要といえます。これからの社会は資源を持続的に循環利用する循環型社会が求められており、その地域の森林を適正に管理し、そこから得られる木を賢く使用すること、すなわち国産材を利用することが求められています。

今回の日本森林学会と日本木材学会の合同による公開シンポジウムでは、森林を健全に造成し、保全することとは何か、森林や木材を適正に利用することとはどのようなことか。また、そのことが環境にとってどのような価値があるのかについて議論を深めたいと思います。

皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

13:30 開会

14:00 基調講演 俵 萌子 氏（作家・陶芸家）

演題 「森と木に学ぶ生活」

15:15 パネルディスカッション

座長：檜垣宮都氏（東京農業大学教授）

パネリスト

河原輝彦氏（東京農業大学教授）：森林の管理と環境について

岡野 健氏（木材情報センター木のなんでも相談室室長）：木材の利用と環境について

秋庭悦子氏（消費生活アドバイザー）：消費者から見た日本の森林と国産材利用

松井孝夫氏（群馬県尾瀬高校教諭）：環境教育と森林・木材利用について

俵 萌子氏（作家・陶芸家）

問合せ先

〒156-8505 東京都世田谷区桜丘 1 - 1 - 1

東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科

宮 林 茂 幸

E-mail:jfs117@nodai.ac.jp FAX:03-5477-2617(代)